

東北地方太平洋沖地震被災地派遣活動について

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。新垣病院からの第2陣として、6月11日から6月16日までの間、岩手県大船渡市で被災地支援活動（沖縄県こころのケアチーム）を行いました。主に診察や相談業務を行い、避難所や仮設住宅を中心に活動してきました。これからも当院でできる支援を継続してさせていただきます。



【越喜来の山村仮設住宅】

長い間避難所生活を強いられてきた方々もようやく仮設住宅が整備されてその生活の場を移しつつあります。



【こころのケアチームミーティング】

ここ大船渡市でのこころのケアチームミーティングの様子です。支援チームは、独立行政法人国立病院機構久里浜アルコール症センター、NPO愛知ネット、新垣病院（沖縄県チーム）が担当しています。



【赤崎の漁村センター】

甚大な被害を受けた赤崎地区の避難所です。入口では、ボランティアの方々が泥まみれになったアルバムや写真を乾かしていました。そこには人々の笑顔が確かにあり、笑い声がガレキ撤去の重機の音に負けないくらい響いていました。



【大船渡市三陸町綾里】

津波被害を受けた綾里地区です。綾里地区は、海岸近くの低地では津波の被害が甚大ですが、山側の高地では家屋が残っています。高地の家屋は残りましたが、電気、水道が震災後しばらく絶たれていました。